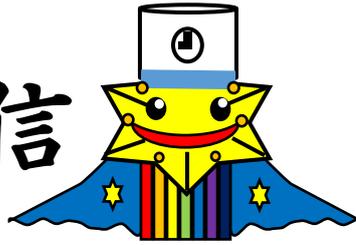


余丁校通信



11月の生活目標

友達と楽しく関わろう。

星になれ！

校長 佐藤 郁子

10月26日(土)、余丁町小学校は開校123周年を迎えました。「ワン・ツー・スリー」と何とも語呂のいい周年です。開校記念日前の一週間は朝会や集会で余丁町小にまつわる話や集会を実施しました。

余丁町小の校章は星の形に似ています。校章を定めたのは、明治44年に着任した第4代の服部校長先生です。服部校長先生の母校の校章をモデルとしてデザインしたそうです。星形の部分は「剣」を、円形の球は「宝石」を象徴しています。その真ん中に余丁町小の「余」の文字。



余丁町小から光を放っているようにも見える、とても素敵な校章です。この校章を基に、学校便りの上部にも登場しているキャラクター「きら星くん」が生まれました。

校章の由来を調べているうちに、この季節の実際の「星」はどんな輝きをしているのかにも興味をもちました。この季節、湿度も減り、空気も澄んでくるので、星を見るにはいい季節です。ところが、この時期に見える1等星は一つきり(みなみのうお座フォーマルハウト)なんだそうです。夏に比べると数もネームバリューもグッと寂しくなります。しかし、一つ面白い星を見つけました。クジラ座にある変光星ミラです。クジラ座は晩秋に南に見える星座です。そのクジラの心臓あたりにあるのが「ミラ」です。名前の前に「変光星」と付くのは、ミラは約330日周期で明るさを変えるのです。明るいときは2等級で肉眼でも楽に見えますが、暗いときには10等級になり、望遠鏡がなければ見えないほどです。さらに驚いたのは、なぜ明るさが変わるのかという点です。ミラは星自身を縮めたり膨らませたりしながら、2等級から10等級まで壮絶に明るさを変えているのです。縮んだときに内部が高温になり明るくなるそうです。星が自身で大きさを変える!?驚きました。

「星」といっても、様々な種類があり、光り方があります。自分の光り方で、輝け!余丁町っ子。

余丁町小学校「スポーツの日」について

体育主任

9月の「学芸会」に続き11月は余丁町小学校「スポーツの日」を開催いたします。今年度から、他者と競い合うのではなく、自らの目標に向かってひたすら追求していくことを大事にして指導していきます。

実は、「学芸会」でも同じように演技を良いものにするために最後まで追求するようにと指導をしていました。そこで付けた力を活用して、余丁町小学校「スポーツの日」の練習に取り組んでいます。短距離走では「カーブでスピードを落とさず走るには」、「ゴール直前で遅くならず力強く走り抜けるためにはどうすればよいのか」、表現では「集団できれいにそろえるためにはどうすればよいのか」など、主体的に取り組めるように明確な課題を設定して取り組ませています。

本番で頑張っている姿はもちろんのこと、練習過程でどのような苦労があって、どのような工夫をしているのかもご家庭で聞いていただき、褒めてあげてください。よろしくお願いいたします。

お知らせ

スポーツの日の参観には「入場券」が必要です。10月22日に配布した「お知らせ」の内容と「入場券」を必ずご確認ください。

不審者対応訓練について

生活指導主任

11月15日(金)に、不審者対応訓練を行います。学校に不審者が侵入したという想定で、どのように対応すべきか訓練します。また、教員がどのような動きで児童を守るのかシミュレーションを行います。

牛込警察署の方にお申し、本格的な訓練を行います。ご家庭でも不審者が侵入した場合の対応について、お子さんとお話しいただければ、意識がより高まると思います。

ご協力お願いいたします。